

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 教育-08 特別支援教育事業(中学校)									
主管課	教育総務課	関連課	部内各課・市立中学校							
分野名	学校教育									
目標 (目標値)	生徒が充実した中学校生活を送れるよう、教材、事務用品、管理用品等の購入、器具の点検等を実施し、質の高い学級運営に努める。									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳) ・各年5月1日(特別 支援学級)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数	48人	55人	39人						
事業の対 象者数	48人	55人	39人							
運営資源状況	決算値(千円)	5,222	3,238	2,023						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	5,222	3,238	2,023						
	人員配置数	0.3人	0.2人	0.2人						
	人件費(千円)	2,329	1,639	1,768						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	7,551	4,877	3,791						
	市民1人当りの経費(円)	42	28	21						
	対象者1人当りの経費(円)	157,313	88,673	97,205						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市				
	公立学校数	—	—	—	—	—				
	学級数(特学)	11	24	13	29	26				
	生徒数	48	109	69	89	89				
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
学校経理担当者会議	◎	目標値	4回	4回	4回	4回	4回			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	4回	4回	4回	4回	4回			

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
特別支援教育事業	5,222	中学校 特別支援教育事業	3,847	今後の 方向性	A	理由 ・手法	全校設置に向けた学校配当予算の確保が必要だが、財源捻出は難しい
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	第一中学校・手広中学校の新規開設用初度調弁を、限られた予算の範囲で調達していく。 26年度新規開級分の学校配当予算の確保											
課題解決のための取組	初度調弁の調達は、価格の精査や同等品検討により、学校の購入希望を全て調達することができた。 新規開級校の学校配当予算の確保を行った							取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決			
未解決の課題	日常の教材等の購入が優先され、設備備品等の更新が難しい											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	必要性、重要度など優先順位の見極めと、学校間の公平性を確保したうえでの柔軟な予算執行。 特別支援学級の全校設置に向けた、学校配当予算の充実及び確保							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ※□事業完了				

評価者名

教育総務課担当課長

原田 幸子

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
特別支援 教育事業	特別支援学級運営が円滑に進むよう、授業、行事等の学校生活に必要な物品、役務の調達や管理など行う				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		155	行事用報償品	24	24	○	○	○	○
		155	教材用消耗品費	2,192	2,191	○	○	○	○
		1456	特別支援学級(第一中・手広中)初度調弁消耗品費	2,000	2,335	○	○	○	○
		155	行事来費用食糧費	3	3	○	○	○	○
155	教材教具備品修繕料	13	13	○	○	○	○		
1456	特別支援学級(第一中・手広中)初度調弁備品購入費	1,000	656	○	○	○	○		
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								